



安心とうるお、の下町「川の手」をめぐして

# 防災まちづくり瓦版

発行／一寺言問を防災のまちにする会

1992.12.1

## ●一寺小の改修についてヒアリング

第一寺島小学校の校舎を、来年度から改修する計画があります。一言会では、寺島図書館前用地を利用した、一寺小の体育館、プールと寺島図書館の合築を区に提案していることから、11月2日

に開かれた理事会に教育委員会庶務課長を招いて、校舎改修計画の詳細と合築の可能性について話を伺いました。

校舎の改修は、小学校の防災上の役割などを考えて、屋上、外壁、窓枠、内部について、集中的に夏休みの間を利用して、4年間にわたり工事を行う予定だそうです。改修後、校舎の建て替えは当分の間は行われないだろうとのことでした。合築については、建物が大きくなってしまうために日照の問題が指摘されました。が、「学校敷地内の問題としてだけではなく、地域の整備として考えていいばん解決策も見つかるかもしれない」という意見も出て、今後も検討を続けていくことになりました。

▲一寺小の改修について説明してくれた、教育委員会庶務課長の山田さん。



▶「赤富士」を製作した一寺小4年2組の児童

寺島図書館前用地は、防災まちづくりのため本格的に利用されるまでの間、暫定利用ができるようになりましたので、一言会と地蔵坂通り商店会は10月6日の担当理事会で、利用方法について検討しました。

利用については、「防災まちづくりの推進や、商店街の振興など、地域社会に寄与する利用であることを条件とし、具体的には防災やリサイクルの活動、商店会のイベントなどに利用するというアイデアが出されています。

この利用については、区と一言会、商店会の3者で覚書を取り交わすこととし連絡事務の窓口を、地蔵坂通り商店会の会長である須賀さんにお願いすることになりました。また窓口の補佐として、用地の隣で「寿司「松むら」を営んでおられる榎本さんに日常の面倒を見てもらうことになりました。

## 『赤富士』登場！

第1号

### アルミ缶壁画



フェンスにひもで固定。

### 高小でも空き缶アート

11月8日（日）高小では、秋の展覧会・授業参観に重ねてリサイクル運動の一環として空き缶回収を行い、この空き缶を使って通学区域五町会対抗の児童とお母さん達による「空き缶積み競争」を

第一寺島小学校4年2組の作品

丘坂第28号で紹介したように、暫定利

私がまちづくりスタッフです

その27

東向島一丁目

宗像信司さん

(一言会・理事)



昭和17年、墨田区東向島(現住所)で生れる。生まれも育ちも一寺言問。正真正銘の「一寺」。宗像さんの家族は、お父さん、お兄さんも大工さん。二人のお子さんも、大学で建築を専攻している。建築家の家系である。

(財)東京都建築士事務所協会、墨田支部副会長、不燃化促進設計事務所協会会員と、まちづくりに深い関係のある職業で、建物の設計、相談はもとより、古く危険なブロック塀の診断をするなど、町の建物の身近な問題を、お仕事にしている。

担当理事会で、商榮会の会員でもある、宗像さんに「はとほっと」との管理人になっていた。

「逃げないですむ町にするには、建物の不燃化、道路作り、容積率のアップを真剣に考えなければいけない。一寺言問のように狭い敷地では効率のよい建物が建てられることが、細街路拡幅事業というのがあって、家を建てる時、道路として下がらなければいけない部分を、区が買取ってくれる。有利な助成は利用すべきですよ。」さすが、専門分野の話になると指摘が細かい。

町会の青少年部の部長もなさ、でいて、「講談の夕べ」は好評である。中田中背、賀木屋のせいか、あまり表にでたがらない。意外や意外、コーラスが上手。墨田混声合唱団に20年も在籍していたことはあまり知られていない。(純)

## いちでうこととい 一寺言問/防災まちづくり瓦版

第29号 平成4年12月1日発行

編集/一寺言問を防災のまちにする会・編集局

高原純子・若木菊枝・植竹モト  
阿部洋一・明間 藤・中村淑子

編集協力/マヌ都市建築研究所

発行/一寺言問を防災のまちにする会・事務局

墨田区都市整備部開発促進室

〒130 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel(5608)1111



▲「まちづくりフォーラム'92としま」で、活動報告をする高原さん。

## 高田製薬跡地・ただいま検討中

一寺言問地区防災まちづくりの計画で「防災広場」の整備用地となっている高田製薬跡地は、「広く地域の意見を集めながら進めていこう」という方針で検討が進められています。

一言会では、「地域の意見をどのように聞き、どのようにまとめるか」「イメージを沸かせるために見学会を開催してはどうか」などを検討課題に、10月29日の担当理事会、11月2日の理事会と検討

を重ねてきました。大きな課題だけに様々な意見が飛び交い、これまで以上に白熱した議論が展開されています。

近々、地域のみなさんに日頃考えている利用のアイディア、意見を出してもらつて、具体的な利用策の検討に入る予定です。「こんな広場が欲しかった」「こんな利用ができるなら素敵だな」など、一緒に考えて行きましょう。

## まちづくりフォーラム'92としま

10月11日、豊島区民センターで「まちづくりフォーラム'92としま」が開催されました。すみだで始まつたまちづくりフォーラムも、今年で3年目。今年は150人余りが参加し、13のまちづくり団体を中心として、「まちづくりの輪をどのように広げていくか」というテーマで、ディスカッションされました。今回のテーマはまちづくりにおける最も重要な難しい課題であるため、どの団体も試行錯誤していくらしく、活発に意見が飛び交い、盛会でした。

一言会からは理事や事務局など10名が参加。瓦版編集局員の高原さんが広場の整備や瓦版の発行について活動報告をしました。

10月30日に開かれた反省会では、次回のフォーラムをどこで開催するか、次回から現地を見学できる機会を設けたい、などの意見が多く出され、参加団体の目は早くも次回のフォーラムに向けられている様子でした。



葛飾北斎の名を世界に轟かせた錦絵「富嶽三十六景」の一つ「凱風快晴」の通称。夏から秋にかけての早朝、富士は僅かな時間、朝焼けに赤く染まるという。赤富士はその一瞬を捉えたものである。

※地蔵坂通り商店会は、12月上旬より、地蔵坂通り商店街振興組合になる予定です。(街角瓦版ニュース4参照)

赤富士とは:

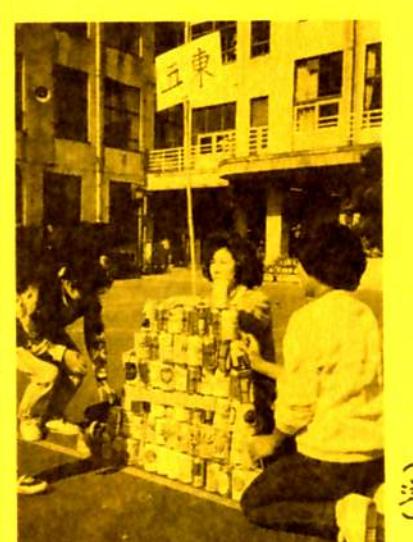
用の一環として「空き缶の塙をつくる」というアイディアがありました。その第一号「赤富士」が11月4日にお目見えました。第一寺島小学校4年2組の児童が3か月余りをかけて製作したもので、アルミ缶を54個使つた、幅2.7m、高さ1.5mの壁画です。マスコミの評判もよく、翌日の朝刊各紙の紙面を賑わせました。一言会では、第2、第3のアルミ缶壁画を募集しています。アルミ缶のリサイクルで楽しい壁画を製作し、広場の連絡窓口までご連絡下さい。

なお、この広場では空き缶の回収は行つておりません。アルミ缶のリサイクルは会古路地の方へお願いします。

## □「所沢まちづくりフォーラム」にも参加□



11月11日、所沢青年会議所が主催して開かれた「所沢まちづくりフォーラム」に、一言会もパネラーとして招かれました。佐原さんが代表として出席し、一言会の活動を報告しました。一言会の他には、町田市、川越市の「蔵の会」が招かれていました。



(洋)

同様PTAでは、今後とも、各種事業にからめてこのようないい、リサイクル活動を継続的に行う予定です。なお、優勝は向島五丁目東町会でした。

